活き活きと輝き、誇れるまちの今をあなたに届ける
広報湯前
Public Relations
ce1962.
http://www.yunomae.com/
［まちの情報誌ゆのまえ］
5
TheMonthly
May_2018
Vol.443
特集1
常昇軍団
湯前球友、初の全国大会へ──
特集2
平成30年度
施政方針・当初予算

頂点
THE TOP

ついに、つかんだ全国大会への切符

第40回西日本軟式野球大会一部（B級）の熊本県大会が3月17日〜24日に上天草市で開かれ、県内各郡市の代表17チームが出場。球磨郡代表として出場した本町の社会人野球チーム「湯前球友」が初優勝を果たし、全国大会出場を決めた。創部61年の歴史で初の快挙を達成した。

選手はほとんどが町出身・在住者で、チームは21〜32歳と若手が中心だ。球友がプレーするB級※は最も競技人口が多い激戦区。一般企業などA級にも劣らない強豪がそろう。球友は宇土市代表との2回戦を15対2、八代市代表との3回戦を6対0と順調に勝ち進んだ。

※全国軟式野球連盟に登録されているチームはA〜C級にランク付けされている

▼準決勝　湯前球友　3－1　味千拉麺

強豪相手に貴重な勝利

実力者がそろい全国大会出場経験を持つ、味千拉麺（熊本市代表）。3回裏、長打が絡み1点を失うも追う5回表。1アウトランナー3塁で、8番を打つエース堤田匡詞（まさのり）の頭部に死球。その後、2アウトながらランナー2、3塁まで駒を進めた。1番は東雄峰（ゆうほう）。頼りになる主将が同点のタイムリーヒット。その後連続四球で押し出し、勝ち越しに成功。「まだマウンドを降りるわけにはいかない」。堤田は意識がもうろうとする中、意地で最終回まで投げ切り、難敵相手に勝利を収めた。

▼決勝　湯前球友　4－1　八代消防

中盤にたたみかけ初V

決勝戦は八代消防（八代市代表）との対戦。3回までは0対0の均衡状態。4回表に1アウト1、3塁と先制のチャンスをつくった。1塁ランナー澁谷秀明（しゅうめい）が盗塁を仕掛け、その間に3塁ランナーの東がチーム一の俊足を飛ばし、ホームイン。続く4、5回にも得点を重ねて有利な展開に持ち込んだ。エース堤田は散発3安打で完投。最長となる9回をシャットアウト。悲願となる全国大会の切符を手にした。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
湯前	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
八代	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

※決勝のみ9回まで

郡予選〜3回戦までの試合結果

▶郡予選
湯前球友 4-3 免田クラブ（あさぎり町）

▶２回戦
湯前球友 15-2 シーベタB.B.C（宇土市代表）

▶３回戦
湯前球友 6-0 郡築クラブ（八代市代表）

写真　町民グラウンドで練習に励むナイン

1 足りないところは全員でカバー。一人複数のポジションをこなす 2 わずかなチャンスをものに。打てないときは足で相手をくずす 3 4 練習からガッツあふれるプレー。県大会で課題となった守備を克服する 5 6 打撃は好調、3割1分をマークした。チャンスをものにするために、練習でも力強いスイングで快音を響かせる

限られた時間や人数で練習。人数が足りないときは、マネージャーも守備につく

強いチームほど燃える「野球バカ」

Shiiba Kyosuke
椎葉　恭介 監督
（41＝下染田）

守りではエースがリズムよく投げ、攻撃では若いチームらしい機動力でかきまわす展開に持ち込めました。バントやヒットエンドランなどの小技はよく決まりましたが、大事な場面で簡単に打ち上げることもありました。反省会ではお酒を飲みながらその日のプレーをみんなで振り返ります。ここに集まっているのは、本当に野球が好きな「野球バカ」ばかり。それぞれが自分の課題を分かっています。楽しみながらのびのびとプレーしてほしいです。

球友は強いチームほど燃えるタイプ。全国大会での対戦を楽しみにしています。ワンチャンスをものにして最少失点に抑えて泥臭く。全国でもコツコツ点を取るような私たちらしいプレーで一戦一戦勝ち抜きたいと思います。

足を絡めた攻撃が持ち味 リードオフマンの出塁がカギ　打率.310

■県大会の打撃成績

打順	選手名	打席	打数	安打	打点	犠打	四死球	三振	盗塁	打率
1	東　雄峰	20	17	7	2	1	2	1	7	0.412
2	澁谷　将人	12	10	3	0	1	1	1	1	0.300
3	田山　裕貴	7	6	1	1	0	1	0	0	0.167
4	澁谷　秀明	18	14	5	2	0	4	2	7	0.357
5	野田　翔平	18	15	3	3	1	2	1	2	0.200
6	倉住　尚貴	6	6	3	0	0	0	2	0	0.500
7	岩本　直樹	18	17	6	2	0	1	2	0	0.352
8	那須　康隆	12	12	1	0	0	0	7	0	0.083
9	堤田　匡詞	17	14	4	4	0	3	1	1	0.286
	その他5選手	17	15	6	6	0	2	2	2	0.400
	チーム	145	126	39	20	3	16	19	20	0.310

足を絡めて得点をつみ重ねるのが球友スタイル

豊富な経験と投球術を駆使 エース堤田が全試合完投　防御率0.82

■投手成績

選手名	試合数	勝利数	負数	投球回	失点	自責点	防御率
堤田　匡詞	5	5	0	34	7	4	0.82
チーム	5	5	0	34	7	4	0.82

エース堤田はテンポ良くチームの流れをつくった

Shibuya Syumei
1 澁谷 秀明
一塁手　下里
①風のような速さでベースを駆け抜けることと、場を和ませるチャーミングな笑顔②県大会では大事なところで打てませんでした。全国大会では大リーガーの大谷翔平選手のような、記録より記憶に残るどでかいホームランを打ちたいです。

Iwamoto Naoki
2 岩本 直樹
捕手　水上村
①チームに貢献できるようなケースに応じた打撃②県大会では攻守ともに好調で、打点をあげ、最少失点で抑えられるリードもできました。全国大会では、好調を維持し、チームの中心になれるような活躍をしたいです。湯前の代表として一戦一戦全力で頑張ります。

Noda Syohei
3 野田 翔平
二塁手・右翼手　馬場
①チャンスを広げ、得点につなげる長打力②県大会ではもう１本が出ませんでした。残塁も多くピッチャーに負担をかけてしまいました。全国大会では、さまざまな場面で自分にできる最善を尽くしたいと思います。まずは初戦を勝てるように頑張りますので応援よろしくお願いします。

Seya Noriyoshi
4 瀬谷 憲功
右翼手　上染田
①どんなことにも全力で動くこと②県大会では、メガネを新調したおかげか、打撃でいい成績を残すことができました。全国大会に向けて、この好調を維持できるように練習を重ねたいと思います。全力でチームに貢献し、一戦一戦勝ち進んでいきます。

Nasu michitaka
5 那須 康隆
右翼手　上里３
①明るくチームを引っ張る元気の良さ②バッティングに迷いが生まれ、消極的になり、思うようにできなかったことが悔しかったです。県大会での反省を生かして積極的に挑みたいです。初の全国大会なので、後悔のないようプレーしたいと思います。

Tayama Hiroki
6 田山 裕貴
遊撃手　浅鹿野
①堅実な守備②初の全国大会、平常心でチームを引っ張ります。ノーエラーで一戦必勝を目指します。打撃ではどんな球にも食らいつき、次につなぐ意識で先制点をもぎ取ります。県代表として、湯前の名を全国に広めます。湯前の皆さん、応援をよろしくお願いします。

Nakagama Yusei
7 中釜 由晴
二塁手　下染田
①相手が嫌がるような、粘るバッティング②持ち前の粘りを生かし、チームバッティングを第一に考えたプレーを心掛けたいと思います。残念ながら県大会には出場できませんでしたが、出場できなかった分、全国では人一倍チームに貢献できるように頑張りたいと思います。

Kurazumi Naoki
8 倉住 尚貴
左翼手　下里
①フルスイング②県大会では、エラーからの失点が目立ちました。しっかり守備練習を重ねて、全国大会に挑みたいと思います。強いチームばかりなので、まずは初戦突破を目指して頑張ります。持ち前のフルスイングでチームに勢いをつけるバッティングを心掛けたいです。

Shibuya Syoto
9 澁谷 将人
三塁手・遊撃手　中里２
①守備範囲の広さ、思い切りの良いスイング②県大会では不調で、大事な場面や先頭打者で打てないことがありました。強い相手になるほど、機動力を生かした攻撃が中心になってきます。打撃が不調であっても、どんな形であろうと出塁します。走力を生かして勝ち上がります。

Fuchikami Shun
11 渕上 駿
二塁手・遊撃手　植木
①内野でも外野でもどこでも守れる守備力②運動不足で、消防の出初式の時にぎっくり腰になってしまい、県大会では全然活躍できませんでした。まだまだ腰の痛みが響いていますが、柔軟をしっかりして、本来の力を発揮したいです。チームに迷惑をかけないように精一杯頑張ります。

Noda Takumi
15 野田 拓美
右翼手　馬場
①元気の良さ、思い切りの良いプレー②県大会では、点がほしいところで打つことができました。全国大会では持ち前の元気の良さと積極性を生かして、みんなと一緒に全力プレーをします。チームがベスト４以上に勝ち上がれるように頑張りたいです。

Tsutsumida Masanori
18 堤田 匡詞
投手　野中田１
①ピンチになってからのピッチングと死球をよく受けること②びっくりするぐらいできすぎでした。監督を全国大会に連れていくことができてよかったです。自分をサポートしてくれた人に感謝しています。全国大会では、自分らしいピッチングをして、チームを勝利に導きたいです。

ONE FOR ALL ,ALL FOR ONE.

「常昇」し続ける球友ナインの思 THE THINKS い

全国大会に向けて日々練習を重ねる18人の選手たち。練習は平日の夜、１～２回ほど。忙しい仕事の合間を縫っている。時間も人数も限られているが、野球に対する情熱は人一倍。「常」に高いレベルへと「昇」ろうとする選手たちに全国大会への思いを聞いた。

Shiiba Hiroki
21 椎葉 浩樹
投手　下染田
①内角と外角を出し入れできるコントロール②私の目標は「勝つ」ことです。今までの練習や試合での成果を十分に発揮して、みんなで楽しく試合をしながらも、勝ちにこだわって正々堂々頑張ってきます。一生懸命全力でプレーします。

Shiiba Junya
22 椎葉 隼也
二塁手・一塁手　下里
①バッティング②県大会の試合中にグローブのひもが切れてしまうハプニングが起きてしまいました。道具の手入れをして、万全の状態で全国大会に挑みたいと思います。スタンドに届くような大きなホームランを打って、チームを盛り上げたいです。

Shiiya Syuki
0 椎屋 周生
二塁手　相良村
①パンチ力、意外性のあるバッティング②県大会では、少ないチャンスの中で、結果を出すことができました。全国大会でも自分に与えられた役割を果たし、チームの勝利に貢献したいです。強豪相手にも負けないパワフルなプレーで勝ち上がっていきたいと思います。

Zouza Nana
蔵座 渚名
マネージャー　多良木町
飲み物やタオルの準備など、部員の奥さんや他の女性陣もみんなを支えようと頑張っています。私はまだ野球にくわしくないのですが、大きな声援でみんなの背中を押したいです。チームの結束力は球友が一番。最後まであきらめない球友らしいプレーを全国大会でも楽しみにしています。

初陣は5月19日、vs 鳥取県代表

全国大会は５月18日から21日まで、宮崎県宮崎市生目の杜運動公園アイビースタジアムなど４会場で開かれ、近畿～九州まで各府県の代表26チームがトーナメントで戦う。球友の初戦は５月19日、会場は高鍋町営野球場（MASUDAスタジアム）に決まった。相手は鳥取県代表の大山（だいせん）町体協名和（なわ）野球部。いざ大舞台へ――。

特集　常昇軍団　湯前球友　完―

他のチームメンバー

倉住 裕貴　投手　下里
田山 絢菜　マネージャー　あさぎり町

勝利へ、みんなが一つに

ピッチャーが最少失点で各イニングを抑えたことが大きかったです。いつもは途中で崩れていましたが、我慢して、点をとられても取り返すことができました。

試合に出ていないメンバーが率先して大きな声を出してくれました。負けていても、落ち込まず、「いけるぞ」という雰囲気になりました。意識はプレーにも表れ、みんなが得点に絡む活躍をしてくれました。

以前はみんな、ホームランやヒットの数など、自分が良ければいいという考えが心のどこかにありました。しかし、最近はチームの勝利がみんなの喜びになり、一人一人が役割を果たすようになりました。

企業などのチームはエリートぞろい。個人の力ではかないません。ここにいるのは小さなころから知っている仲間ばかり。グラウンド上では上下関係なく、意見を交わしています。今回は、チーム力で勝てたのだと思います。

全国大会はさらにレベルが上がります。１番バッターとして最初に出塁するなど、プレーで引っ張り、主将の役目を果たしたいです。県大会のようにそれぞれが役割を果たすことができればチャンスが開けると思います。

Higashi Yuhou
10 東 雄峰 主将
中堅手　上里１

地域の宝を生かして 笑顔あふれるまちに

平成30年第3回議会定例会が3月7日から16日の期間で開かれ、鶴田正巳町長が新年度の施政方針と予算編成方針を示しました。「活き活きと輝き誇れる町ゆのまえ」を目指す、本年度の計画と予算を紹介します。

湯前町長　鶴田 正巳

Tsuruda masami

「好き」と思えるまちづくり

若い世代の人口流出や出生率の低下などが影響し、平成52年には本町の総人口が2511人になると予測されています。「家族や地域のきずなの再生」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える」を基本に、笑顔があふれ、「ゆのまえが好き」と思えるまちづくりを推進します。

森林の整備、積極的な農業支援、福祉施策を充実させ、地域の雇用づくりに努めます。近年増えているふるさと納税の返礼品を活用して、地元産品をPRし、魅力ある商品づくりを推進することで町民の所得アップを目指します。

暮らしやすさの充実

若者が入居できるような住宅を建設し、住環境を整えます。人口の流出を防ぐため、空き家を活用した定住や住宅リフォームを支援します。

保健センターやB&G海洋センター、各地区の公民分館での健康づくり活動など、町民の健康寿命を延ばすことに取り組みます。高齢者の見守りにも引き続き取り組みます。球磨郡公立多良木病院の運営、人吉球磨の公共交通再編、上球磨消防署庁舎の建設、福寿荘の民営化計画など、それぞれの計画に合わせた本町の福祉政策を検討します。

インターネット環境を見直し、時代に合わせたICT（情報通信）技術で町民の暮らしやすさを充実させます。

❶湯前暮らしが体験できるお試し住宅は空き家を活用❷各地区が健康づくりに取り組む「いきいきクラブ」❸町民の生活や教育に活用するICT技術

湯前にあるものを生かす

将来の湯前小・中学校のあり方を含め、老朽化する施設の長寿命化を考えながら、地域とともにある学校にしていきます。日本遺産に認定された文化財や町民の活動、歴史的に価値のある建物や町のすばらしい景観を次の世代に継承しながら、地域が抱える課題と向き合っていきます。町民の皆さまには引き続き、ご支援とご協力をお願いします。

特集２　平成30年度 施政方針・当初予算

育み、支え合う人と町づくり　※すべて主なもの

1．後継者対策
- 農業後継者等支援補助金など将来の後継者を育成・支援

2．教育
- ふるさとを愛する児童生徒を育成
- ICTの充実で子どもの授業への関心や意欲を高める
- 適切に支援員を配置
- 歴史文化基本構想をもとに、文化財の維持・継承に努める
- 御大師堂周辺整備の準備
- 小学校部活動の社会体育移行の準備
- B&G海洋センターを拠点に健康・交流の場づくり

産業の振興

1．農林業の振興
- 町独自の支援制度を広め、強い経営体を育成
- 6次産業化を推進し、担い手を育成
- 畜産奨励補助金の活用推進
- 優秀な素牛導入で畜産業の活性化、家畜防疫にも努める
- 農村地域防災減災事業（蓑谷地区）、特定農業用管水路等特別対策事業（仁原地区）を実施
- 新規事業として農地耕作条件改善事業（植木地区）の用水路整備を要望
- 農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止
- 町有林の主伐、間伐、再造林、下刈りを計画。主伐期を迎えた人工林の需要拡大

2．商工業・観光の振興
- 観光客を商店街へ誘導
- 個々の事業者へ経営持続・雇用拡大の支援
- 新商品開発やプレミアム商品券発行事業を支援
- 外国人旅行客に対応する環境をつくる
- 観光案内人による魅力ある観光を実現
- 「湯～とぴあ」に民間の活力の導入、住民サービスを向上し経費を節減

住環境の整備

- 町道舗装修繕工事は本年度1路線を実施予定
- 橋りょうの補修設計1カ所、永岡トンネルの修繕を予定
- 一般住宅1棟3戸を建設
- 美しい町の景観と周辺施設の一体感を考えた計画を立てる

健康・福祉の増進

1．健康の増進
- 健康増進施策を推進、町民の健康寿命を延ばす
- 健康診査、各種がん検診、歯科検診などを行い、健診後は保健師や管理栄養士が支援
- 不妊治療費助成金制度を新設、子どもを持ちたい家庭を支援

2．福祉の増進
- 相談体制を整備、きめ細かな支援策を充実させる
- 一人暮らしや高齢者のみの世帯、認知症の人を地域で見守り、支える体制を整える
- 安心して子育てできるような質の高い幼児教育・保育や支援を行う

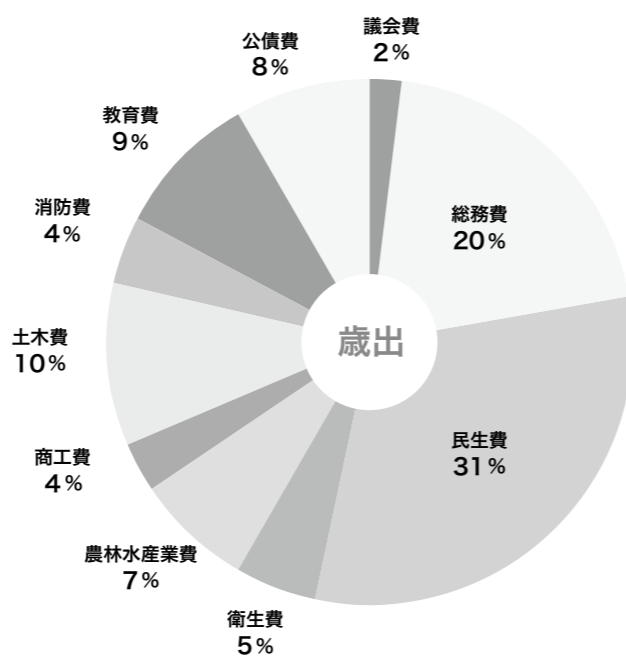
行財政運営

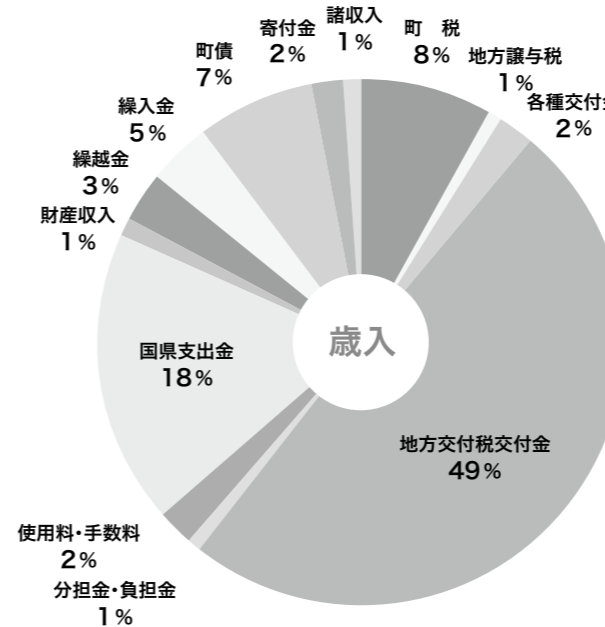
- 事業の仕分けを行いながら、限られた財源、人材を最大限に活用した運営に努める
- 庁舎や小・中学校など、公共施設の将来的な負担を見通し、計画を立てて対応を考える

活気あふれるまち づくり予算 2018

平成30年度の予算総 額は28億4511万円

笑顔があふれ、住みたい、住み 続けたいと思えるようなまちへ―。
一人一人が「活き活きと輝く」まちづくりの 実現へ向けた、本年度予算の内容をご紹介します。

歳出

項目	金額
議会費	6,746 万円
総務費	5億6,976 万円
民生費	8億7,075 万円
衛生費	1億3,864 万円
農林水産業費	1億8,863 万円
商工費	9,654 万円
土木費	2億9,304 万円
消防費	1億2,477 万円
教育費	2億6,125 万円
公債費	2億3,383 万円
その他	44 万円
合　計	28億4,511 万円

歳入

項目	金額
町　税	2億3,949 万円
地方譲与税	2,170 万円
各種交付金	6,200 万円
地方交付税交付金	14億589 万円
分担金・負担金	1,961 万円
使用料・手数料	4,759 万円
国県支出金	5億1,777 万円
財産収入	2,306 万円
繰越金	9,300 万円
繰入金	1億2,380 万円
町　債	2億217 万円
寄付金	5,000 万円
諸収入	3,903 万円
合　計	28億4,511 万円

項目	金額
自主財源	6億3,558 万円
依存財源	22億953 万円
合　計	28億4,511 万円

＜議会費＞　※すべて主なもの

項目	金額
議会費	6,746万円

＜総務費＞

項目	金額
財産の管理	6,391万円
公有林の管理	4,830万円
交通安全対策	1,747万円
情報通信管理	3,408万円

＜民生費＞

項目	金額
高齢者福祉	1億9,285万円
後期高齢者医療費	1億246万円
子どもの福祉（保育園の運営費を含む）	2億3,526万円
介護保険会計への繰出金	1億109万円
国保会計への繰出金	5,102万円

＜衛生費＞

項目	金額
子ども医療費助成金	1,440万円
がん検診やワクチンなどの予防費	3,212万円
環境・衛生費	830万円
し尿やごみなどの処理費	5,730万円

＜農林水産業費＞

項目	金額
農業の振興	9,209万円
林業の振興	1,318万円
畜産業費	423万円

＜商工費＞

項目	金額
商工業の振興	2,420万円
観光の振興	5,350万円

＜土木費＞

項目	金額
下水道特別会計への繰出金	7,963万円
道路の維持管理	1億3,332万円
住宅の建設、改修工事費	3,891万円

＜消防費＞

項目	金額
上球磨消防組合負担金	9,351万円
消防施設の維持管理	892万円

＜教育費＞

項目	金額
湯前小学校の運営	3,437万円
湯前中学校の運営	4,024万円
文化財の保護	1,187万円
湯前まんが美術館の運営	2,274万円
体育施設の維持管理	1,335万円
学校給食費	2,855万円

＜公債費＞

項目	金額
元金	2億1,404万円
利子	1,978万円

＜町税＞

項目	金額
町民税	9,731万円
固定資産税	1億456万円
軽自動車税	1,543万円
たばこ税	2,160万円
その他	59万円

＜地方譲与税＞

項目	金額
自動車重量譲与税	1,540万円
地方揮発油譲与税	630万円

地方譲与税：国税として徴収したものを町に対して譲与するもの。

＜地方交付税＞

項目	金額
普通交付税	13億7,900万円
特別交付税	2689万円

地方交付税：国税を財源にして、全国どの町村に住んでも一定水準の行政サービスが受けられるよう、国が町に交付するもの

＜分担金・負担金＞※主なもの

項目	金額
上・中球磨巡回支援専門員整備事業費負担金	681万円
保育園入所児童保護者のなどの負担金	977万円

＜使用料及び手数料＞※主なもの

項目	金額
湯前町インターネット使用料	1,465万円
町営住宅使用料	2,674万円
教育施設使用料	131万円
窓口（戸籍、住民票など）証明手数料	205万円

＜国・県支出金＞※主なもの

項目	金額
保育所運営費負担金	6,063万円
障害者福祉費負担金（国・県）	1億2,688万円
子ども手当・子どものための手当負担金（国・県）	4,368万円
農業費補助金	6,003万円
林業費補助金	3,364万円

＜財産収入＞※主なもの

項目	金額
木竹売払収入	2,268万円

＜繰越金＞

項目	金額
前年度繰越金	9,300万円

＜繰入金＞※主なもの

項目	金額
財政調整基金繰入金	4,000万円

＜町債＞※主なもの

項目	金額
臨時財政対策債	7,217万円
道路整備債	8,850万円
緊急防災・減災事業債	2,450万円

町債：町の事業で財源が足りないときに外部から資金を調達するもので、長期的な借入金のことです。

Hotopi 安心安全な子育て環境を

「学童に通うのが楽しみ」と口をそろえて大きく笑う児童たち

中武（なかたけ） 夏音（かのん）さん（湯前小4年＝野中田3）

よく外に出て、なわ跳びやかくれんぼをしています。ここに来ると、たくさんの友だちと遊べるので、毎回通うのが楽しみです。

多良木（たらぎ） 智稀（ともき）さん（同＝上村）

1年生のころから通っています。部屋の中で折り紙を折ったり、外に出てみんなでドッジボールをしたりすることが楽しいです。

湯愛学童クラブが湯前小敷地内に完成

本町の社会福祉協議会（会長＝鶴田正已町長）が湯前小学校の敷地内に建設を進めていた「湯愛学童クラブ」の落成式が3月31日に現地で開かれ、関係者40人が施設の完成を祝いました。

湯愛学童クラブは平成24年4月に同校の空き教室（元図工室）を利用し、町内で2カ所目の学童クラブとして開設。平成27年に国の新制度が始まり、対象の児童が小学3年生までから6年生まで拡大。より大きな部屋が必要になったことや、児童の安全を考えたことから、同校の給食調理場跡地に建設しました。

建物は木造平屋で床面積183・68平方㍍。地元の木材をふんだんに使い、内には学習室や厨房、事務室などの部屋があります。本年度は1～6年生まで74人が利用。広い室内や校庭で元気に遊んでいます。

落成式で鶴田町長は「これまで以上に子どもたちの安らぐ居場所となるのでは。地域の子育て支援の拠点として、福祉と教育を一体にし、町の宝である子どもたちの幸せな未来を願い努力していきたい」とあいさつ。関係者6人がテープカットしました。主任指導員の嶋田ゆかさん（40＝下里）は「人数も増えたことで、さらに元気いっぱいの学童クラブになった。児童たちが日々の生活の中で、協力し合いながら、思いやりやゆずり合いの気持ちを学べるように支えていきたい」と話していました。

❶勉強に集中するための個室❷地元の木材を使い、広々とした室内❸校庭で元気に遊ぶ児童❹建設されたのは安心の学校敷地内

消防団入退団式・操法大会

2-1（上下染田）3-3（野中田）がV

湯前町消防団入退団式・ポンプ操法大会は4月1日にB&G海洋センター一帯で開かれ、団員135人が出動。12チームが出場した小型ポンプの部は第3分団第3部（野中田）、自動車ポンプの部で第2分団第1部（上下染田）が優勝しました。

入退団式では退団者13人と新入団員8人に土屋登志久団長から辞令が交付されました。操法大会の「最優秀選手賞」は優勝した両部をはじめ、9人に贈られました。両部は7月29日に下球磨方面で開かれる郡大会に本町代表として出場します。

〈ポンプ操法大会〉

▼小型ポンプの部
①第3分団第3部（野中田）
②第3分団第4部（田上）
③第4分団第3部（馬場）

▼ポンプ車の部
①第2分団第1部（上下染田）

▼最優秀選手賞
○自動車ポンプの部
指揮者　椎葉恭介（2-1）
1番員　中釜由晴（2-1）
2番員　橋本康平（1-1）
3番員　中田潔裕（2-1）
4番員　椎葉浩樹（2-1）
○小型ポンプの部
指揮者　廣田祐哉（3-3）
1番員　平川裕貴（3-4）
2番員　大林達明（3-3）
3番員　苗床貞文（3-3）

4人が最優秀選手となった第2分団第1部

選手たちの顔は真剣そのもの

❶一度きりの本番に気合も入る❷スピードと正確さの両方を意識❸連続で郡大会への出場を決めた第3分団第3部

〈退団者〉
○本部　荒川修一
○第1分団第1部　桑原良幸
〃　栗原　礼
〃　永田洋介
○第2分団第3部　那須直樹
○第3分団第2部　桑原雄司
〃　椎葉光朗
○第3分団第3部　田山幸平
○第3分団第4部　迫田智之
○第4分団第1部　那須博幸
〃　石井康博
○第4分団第2部　田中祐樹
○第4分団第3部　野添一臣

〈入団者〉※途中入団含む
○第1分団第1部　鍋田龍矩
○第1分団第3部　椎葉祥希
○第2分団第1部　満尾　樹
○第2分団第3部　竹本恭平
〃　柴田眞典
〃　税所一典
○第3分団第2部　井上　翼
○第4分団第1部　椎葉賢也
○第4分団第3部　森下英史
〃　野添泰平
〃　愛甲颯樹
○第4分団第4部　久保田直樹

❶町内5件目の県重要文化財となった御大師堂❷質の高い厨子（上部）と須弥壇も貴重な重要文化財

近世初期の空間残る
御大師堂が県指定重要文化財に

下里区の御大師堂と内部の仏像を安置するための厨子（屋根付きの収納具）が3月27日に熊本県教育委員会から県の重要文化財に指定されました。

御大師堂は弘法大師を祭った茅葺屋根の仏堂。残る祈祷札などから17世紀中ごろ、厨子は使われた工具の跡から天正9年～17年（1581～1589年）ごろに造られたと考えられています。御大師堂は昭和45年に町の重要文化財に指定。座高88㌢ほどの木造弘法大師座像は県の重要文化財に指定されています。

御大師堂は質の高い仏堂、須弥壇、厨子がそろっていて、近世初期の宗教的な空間を残していることが特徴。今回の指定で、本町の県指定重要文化財は5件になりました。本年度、国の街なみ環境整備事業を使って、御大師堂周辺の環境整備を計画しています。

読書に親しんで
なずなの会おはなし会

「こども読書の日」を記念した、ゆのまえ読み聞かせなずなの会（園田篤子代表）のおはなし会が4月14日に湯愛学童クラブで開かれ、児童や親子連れなど約40人が、絵本の読み聞かせで読書に親しみました。

子どもたちは「おまんじゅうのすきなとのさま」の紙芝居や「アレクサンダとぜんまいねずみ」の大型絵本、会員が手作りで仕上げた、アイデア満載の布絵本シアターに夢中になっていました。

最後には新聞紙で作ったカブトをかぶり、椎葉利秀（60＝上里2）さん、中渡恵子（50＝中里2）さんのギター演奏に合わせてこいのぼりの歌などを楽しく歌いました。恒松竜乃介さん（湯前小2年＝馬場）は「紙芝居の内容が楽しかった。本が好きなのでこれからもたくさん本を読みたい」と話していました。

❶人形が動く布絵本シアターなどいろんな本にふれた子どもたち❷みんなで新聞紙のカブトをかぶり、体をゆすりながら元気に歌を歌った

❶全国大会での活躍を誓う選手たち❷全国大会に向けて練習を重ねる石井さん

過去最多15人が全国へ
熊本県空手道選手権大会

第37回熊本県空手道選手権大会が4月1日に山江村体育館で開かれ、本町の空手クラブ陽心館（藤岡孝史代表）の15人が全国大会出場を決めました。

大会は日本空手協会が主催。小学1年～一般の部で開かれました。藤岡さんは「技や動きのレベルが上がり、勝負強さも増した。年間を通した体と心の鍛錬が良い結果につながった」と話し、小学5年女子組手で1位、型で2位となった石井愛子さん（湯前小5年＝上村）は「積極的に技を出すことができてよかった。上段蹴りの練習を重ねて、全国大会では優勝を目指したい」と話していました。

小・中学生の全国大会は8月4、5日に宮城県で、高校生・一般は6月2、3日に東京都で開かれる予定です。

＜競技結果＞※団体は関係者のみ

男子・組手
○小学低学年団体
①石神悠翔
〃多良木智稀
〃河内聖人
○小学3年
①那須優斗
②村山匠人
○小学4年
①多良木智稀
②河内聖斗
○高校
①清川直紀
②別府晶

男子・型
○小学3年
①那須優斗
②石井進太郎

女子・組手
○小学高学年団体
①清川真帆
〃多良木姫愛来
〃石井愛子
○小学5年
①石井愛子
②多良木姫愛来
○小学6年
①河内杏華
○中学2年
①別府光美

女子・型
○小学5年
②石井愛子
○小学6年
②河内杏華
○中学2年
①別府光美

都道府県団体
○一般
①多良木智晴
〃半田寛和
〃岩下琴美（相良村）

新たな仲間を歓迎
慈光こども園入園・進級式

歌と演奏で新たな仲間を歓迎した園児たち

慈光こども園（藤岡洋子園長）の入園・進級式が4月7日に同園で開かれ、園児約60人と保護者らが参加し、新年度の始まりを祝いました。

本年度は4月に3人が入園し、5月に2人が入園予定。園児は担任の保育士から名前を呼ばれると、一人一人手を挙げて大きな声で返事をしました。式を祝おうと年長児が歌と演奏をプレゼント。たくさんの保護者と園児が見守る中、元気の良い音色が会場内に響き渡っていました。

役場新体制を紹介します

4月1日付 ※□は人事異動、課名変更、（）は兼任

◆町長部局（鶴田 正巳町長）

課・局	課長・局長	主　幹	係	係　長	係　員
総務課	高橋 誠		総務係	有馬 博士	姫野 宏太
					右田 千晴
			財政係	黒木 博行	（姫野 宏太）
			情報統計係	（有馬 博士）	澤田 明日香
			管財防災係	荒木 龍二	**（黒木 博行）**
					（澤田 明日香）
			総務課付（熊本県後期高齢者医療広域連合出向）		沖松 泰豪
税務町民課	**堤田 真由美**	**那須 康清**	町民係	兼田 奈緒美	（藤本 尚）
			保険医療係	佐藤 大	藤本 尚
					（那須 文枝）
					（福山 祐里子）
		中園 誠二	町民税係	植木 圭一郎	那須 文枝
					（福山 祐里子）
					渕上 駿
					（山崎 莉奈）
			固定資産税係	（中園 誠二）	（那須 文枝）
					（渕上 駿）
					山崎 莉奈
			収納係	（中園 誠二）	
				（植木 圭一郎）	
保健福祉課	白川 一雄	中西 博子	福祉係	赤池 寛子	**（平山 美紀）**
					落合 由衣
					岩本 直樹
			保健係	田中 朋子	野々原 亜紀
					東 和美
			環境衛生係	平山 美紀	**山口 真子**
		髙木 堅介	介護保険係	（髙木 堅介）	豊後 真由
建設水道課	**皆越 克己**		管理係	浅田 徹	**（橋本 康平）**
					溝下 寛明
			整備係	伊藤 賢一郎	**山野 瑛人**
			水道係	（浅田 徹）	**橋本 康平**
農林振興課	**稲森 一彦**	**赤池 昌信**	農業振興係	**椎葉 祐介**	**（山崎 祥子）**
					（黒木 優士）
					（澁谷 将人）
					滝上 紘史
			農林整備係	**椎葉 泰裕**	**澁谷 将人**
			地域再生戦略推進係	**（赤池 昌信）**	**黒木 優士**
					（滝上 紘史）
企画観光課	**本山 りか**		企画振興係	**射場 絵美**	**（岩野 浩平）**
					勘米良 康隆
			商工振興係	**佐藤 由美子**	**（勘米良 康隆）**
					坂本 好
			観光推進係	**岩野 浩平**	**（佐藤 由美子）**
					（射場 絵美）
					（坂本 好）
会計室	愛甲 正之				福山 祐里子
					（那須 文枝）
					（山崎 莉奈）

◆町議会（倉本 豊議長）

議会事務局	西村 洋一				**黒木 あさみ**

◆教育委員会部局（中村 和弘教育長）

教育課	北崎 真介		学校教育係	栗原 利香	**（那須 信吾）**
					大林 達明
			社会教育係	**西 公文**	**（吉田 真紀）**
					那須 信吾
			社会体育係	**吉田 真紀**	**（西 公文）**
					工藤 陽平
					（大林 達明）
			学校給食共同調理場	（吉田 真紀）	

◆農業委員会部局（稲森 英雄会長）

農業委員会	**吉田 精二**				**山崎 祥子**

◆退職（3月31日付）

皆越 利次（建設水道課長）

新規採用職員の抱負

企画観光課企画振興係長
射場（いば） 絵美（えみ）（41＝中里2）

私はあさぎり町出身ですが、同じ郡内でも湯前町は雰囲気ががらりと変わり、静かで落ち着いた住みやすい町です。これから、一つ一つ着実に仕事を覚えて、町民の皆さんの役に立てるよう精一杯頑張ります。これからもどうぞよろしくお願いします。

❶農業の担い手の確保など地域の課題に取り組む公社 ❷栄養、風味がばつぐんの杵つき米

地域に必要とされる公社へ

農業公社の状況をお知らせします

農地を守り、産業をつくる

（一社）湯前町農業公社は町から9千万円を出資して、平成23年度に設立しました。

平成22年度、町の耕作放棄地が100㌶に昇るとの試算が出ました。公社の設立は農地を守り、地域資源を次の世代に受け継ぐことや町の生き残りのための産業をつくることが目的です。

本町の農家の数は平成27年度時点で364戸。ここ15年で30㌫も減っています。担い手不足や高齢化も深刻で、就農する人は1年に一人ほど。平均年齢は67歳を超えています。今のままでは「人」が足りず、どんどん耕作放棄地が増え、農業を維持していくことが難しくなります。農業公社は農産物の生産や雇用を増やし、耕作放棄地を農地に戻して担い手に受け渡すなど、一定の役割を果たすことができました。

荒れ果てた耕作放棄地をきれいな農地に戻すためには、お金も労力もかかる

設立以来続く赤字

設立以来、年平均860万円の赤字が続いています。町の出資金は平成28年度末で3300万円まで減少。主な原因は①農地の貸し借りの依頼が計画よりも少ない②町内あちらこちらに農地が散らばるなど、条件の悪いほ場が多く作業が非効率だった③技術不足で収量が少なかったことなどです。

総農家数と平均年齢の推移

	総農家数（戸）	平均年齢（歳）
H12	501	59.0
H17	475	62.3
H22	449	66.4
H27	364	67.2

地域に必要とされる公社へ

農業の担い手の確保が難しい状況や経営状況を改善しなければなりません。新たな理事を招き、今後の経営計画を見直します。農地の維持だけでなく、米のブランド化や新しく就農する人の育成、担い手農家の支援など、地域農業をサポートします。公社の存在が地域に必要とされるように関係者と協力しながら課題に取り組んでいきます。

戸籍の窓

平成30年3月1日～3月31日

ご結婚おめでとう

大林　達明（野中田2）
樅木　千波（野中田2）

和田　瑞生（上村）
中川　幸枝（大牟田市）

林田　洋一（氷川町）
山口　史　（浅鹿野）

たんじょうおめでとう

	保護者名
澁谷（しぶや）　柚妃（ゆずき）	将人（中里2）

ご冥福をお祈りします

椎葉　美知子（上村）
山本　忠雄　（古城）

香典返し

椎葉　利恵子（中猪）
渕田　賢一　（上里1）
五家　孝　　（あさぎり町）
山本　ヒデ　（古城）
椎葉　國忠　（上村）

Dietary habits

管理栄養士だより

身近な食品で減塩しましょう
～5月17日「世界高血圧の日」～

今月は身近な食品の塩分量を紹介します。
日本人は、めやすより平均で3㌘ほど多く摂取しています。
すぐに目標を達成できなくても、今よりも少しでも
塩分を減らしてみませんか？

1日の塩分のめやす
※日本人の食事摂取基準2015

男性	女性
8.0㌘	7.0㌘

漬け物に含まれる塩分量
各30㌘あたり（★マークはおおよそ5切れ）※味が濃いときは塩抜きを！

漬け物	塩分量	漬け物	塩分量
梅干し（中3粒）	6.6㌘	白菜塩漬け	0.7㌘
きゅうりの塩漬け★	0.8㌘	キムチ	0.7㌘
きゅうりぬか漬け★	1.6㌘	たくあん★	0.7㌘
らっきょ漬け（5粒）	0.6㌘	大根ぬか漬け★	1.1㌘
なす塩漬け★	0.7㌘	べったら漬け★	0.9㌘
なすぬか漬け★	0.8㌘	甘酢しょうが	0.9㌘

管理栄養士　田中　朋子

Health

保健師だより

赤ちゃんのために、妊娠する前から予防接種を
風しん予防接種を無料で行っています

妊娠初期に風しんにかかると、赤ちゃんが難聴・白内障や緑内障・心臓疾患を起こすことがあります（先天性風しん症候群）。風しんにかかった記憶がない、免疫が十分にないときは注意が必要です。妊娠した女性は風しんの予防接種が受けられません。

20～40代の男性は、風しんの免疫がないことが多いです。早めに家族の予防接種を考えてみませんか。

無料で風しん予防接種を
行っています

対象
19歳以上。風しんにかかったことがなく、予防接種を
2回受けたことのない①～③の人。
① 妊娠を希望する女性
② 妊娠を希望もしくは妊娠している女性の同居者
③ 海外などで風しんが流行している地域へ行く機会がある人

受付
保健センター窓口（保健師）で随時受け付けています
お問い合わせ ▶ 湯前町保健センター　TEL 0966 － 43 － 4112

Ecolog

ごみ情報

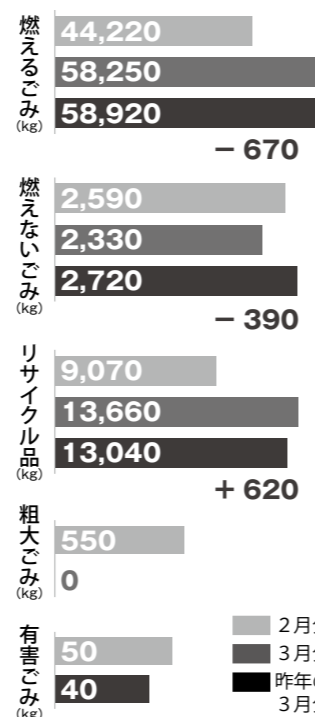
リサイクルステーションからのお願い
リサイクル品を入れてきたビニール袋は、各自持ち帰ってください

資源ごみを持ち込む前に確認を

リサイクルステーションへ持ち込めるのは、『資源ごみ』だけです。
リサイクルは、必ずきれいに洗って出してください。汚れているものは、
絶対に持ち込まないでください。不燃ごみの持ち込みもしないでください。
持ち込みをする前に確認をお願いします。

種　類	出し方
ガスボンベ・スプレー缶（燃えないごみ）	中身を使い切ったら穴を開ける
乾電池（燃えないごみ）	水銀0使用は、燃えないごみへ
じゅうたん（燃えるごみ）	1㍍以内に切って出す
こたつ（掛け・敷）布団（燃えるごみ）	指定袋に入るものは燃えるごみ。入らないものは、3つ折り程度にたたみ、ひもで十文字に縛って人吉球磨クリーンプラザへ持ち込む
陶器・ガラス類（燃えないごみ）	割れていたら、新聞紙などで包む

※5月の不燃物収集は 2日、16日 です（第1・3水曜日）
※5月3日（木）憲法記念日と4日（金）みどりの日のごみ収集はお休みです

種類	2月分	3月分	昨年の3月分	増減
燃えるごみ（kg）	44,220	58,250	58,920	－670
燃えないごみ（kg）	2,590	2,330	2,720	－390
リサイクル品（kg）	9,070	13,660	13,040	＋620
粗大ごみ（kg）	550	0		
有害ごみ（kg）	50	40		

Books

読書のススメ

中央公民館図書室 ※貸出期間2週間/一人5冊まで
○平日 午前8時30分～午後5時　○土日・祭日 午前9時30分～午後5時
㊂教育委員会 TEL0966－43－2050

子育ての不安が、ホッと安心へ
0～3歳の これで安心 子育てハッピーアドバイス
明橋 大二（著）、1万年堂出版

4コマ漫画で分かる子どもの年齢に合わせたしつけ。泣きやまない、かんしゃく、イヤイヤ期、言うことを聞かない。どうしたらいいという育児の困りごとへのアドバイスがぎっしり。3歳までに、最も大切な心の子育て決定版。

子どもの感性を磨く
123　かずのえほん
トム スローター（著）、西村書店

モダンアートにふれながら、1から10までの「かず」に親しみ、「かたち」や「いろ」を通して子どもの感性をはぐくむ。ニューヨーク発のおしゃれな一冊。

わが子へのまなざしが変わる
頭がいい親 13歳からの子育て
木村 慶子 ほか（著）、コスモトゥーワン

11～12歳（前思春期）。子どもが乳児として誕生してから、もう一度誕生し直す「第二の誕生」の時期。母親と子どもがもう一度、「心の絆」を結び直す最後のチャンス。

数の表現を楽しく学ぶ
ひとつすこしたくさん
マーサ ジョスリン（著）、西村書店

「すこし」っていくつ？「たくさん」ってどれくらい？数に親しみ始めた子どもたちは、大まかな数の表現をどう認識するのか。モダンアートを楽しみながら、同時に数の概念が自然に理解できるように工夫されたユニークな絵本。

青年団だより

2018 No.1
広報部長 森川 未月

ことしもたくさん町の中で顔を出します！

ことしもたくさん盛り上げていきます

新体制で湯前町青年団が始動しました。
新広報部長になった私、森川未月が
１年間青年団の情報を発信していきます！
いろんなイベントに参加していくので
気軽にお立ちよりください。
次回は新入団員も紹介します。
ぜひ、お楽しみに！

広報部長
森川 未月
（19＝下村）

■ 役員紹介

役職	氏名	地区
団　長	坂口　真紀子	下里
副団長	橋本　康平	野中田３
〃	右田　千晴	下村
事務局 / 会計	山崎　莉奈	上里２
企画部長	溝下　寛明	野中田２
社会産業部長	恒松　明美	馬場
文化部長	左座　可奈子	野中田２
体育部長	工藤　孝昭	中里１
広報部長	森川　未月	下村
監　事	椎葉　直斗	田上
〃	工藤　正明	馬場
球青協副会長	瀧森　道太	下城
球青協常任理事	工藤　祐二	中里１

４月の行事 ※５月１日まで

4月29日　おっぱい祭り　バザー出店
5月 1日　里宮神社春まつり　青年団みこし担ぎ

これから

5月 5日　新入団員歓迎会
5月 7日〜　資金作り
※ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします
6月17日　球青協体育祭

Smile

ゆのまえがお

北崎（きたざき）　順也（じゅんや）さん
（47 ＝上里１）

ひとこと「湯前スポーツ界をもっと熱くっっ!!」

「笑顔がすてき」「何かPRしたい」などたくさんの人を待っています
企画観光課 地域おこし協力隊まで TEL 0966-43-4111

Front Page

今月の表紙

創部以来初の全国大会出場を勝ち取った湯前球友。大舞台に向けて練習を重ねています。主将として、1番バッターとして、勝利のために。チームを引っ張る東雄峰さんは快音を響かせていました。

編集後記

▼入学式で新一年生をつれてきた湯前小学校の6年生と同じく広報担当6年生(年目)になりました。今まで以上に皆さんと会話し、町の中でまちづくりにつながるヒントを見つけていきたいと思います。▼湯愛学童クラブの取材では元気な子どもたちがお出迎え。たくさん元気をもらいました(おやつももらいました。おいしかったです)。最後には私との別れを惜しみ、見送ってくれる子も。バイバイと手を振りながら、「人との出会いを大切にできる子だな」とその子を誇りに思いました。▼天候不良でキャンピングカーイベントや予定していた取材が中止に。一方、桜が満開のころは雨が降らず、いつもより長く桜を楽しむことができました。ことしの思い出は夜に桜の写真を撮ったり花見をしたりしたこと。どれも寒かったです。大きな寒暖差に負けず、体調を整えて季節を楽しみたいものですね。（宏）

ふわふわ？ パチパチ？

一気に押し寄せてきた春、夏はもうすぐそこ

タンポポを逆さに持ち、夕日に照らすとまるで線香花火のよう

いつもより早く桜が咲いたり、市房山に雪が積もったり、
暑さ寒さを繰り返した４月。花や虫たちもてんてこまいだったはず。
春が過ぎようとしていますが、今回は夏を先取りしたような写真が撮れました。

リポーター
安井 佳奈

鮮やかなピンクの芝桜やシャクナゲが一斉に花を咲かせました。木々も緑の葉っぱがたくさんつき、夏の景色に近づいてきました。いつもはお昼に外を歩きますが、今回は夕暮れの町内を歩いてみました。

湯前は高い建物がなく、沈む太陽をさえぎるものがありません。いろいろなところで太陽が沈んでいく様子を見ることができます。いつも通る道も夕日に照らされて、昼の景色とは一味違います。足元にはタンポポの綿毛。夕日と綿毛が重なるようにして持ってみると、沈む太陽に照らされ、まるで線香花火のよう。ふわふわの毛の先までオレンジ色に染まり、火の粉がはじけているようでした。春にしか見られない線香花火。夕焼け空がきれいなときにしかできない、期間限定の写真が撮れました。しばらく沈む太陽を見ていましたが、沈んでいくのは意外に早いのだと気がつきました。気がつけばあたりは薄暗くなっていき、あっという間に肌寒くなりました。

いつも見ている景色も、少し角度を変えてみると違った景色が楽しめます。たまには足を止めて、ゆっくり景色と季節を楽しんでみてはいかがでしょうか？

「ゆのまえかじり」はこちらから！

湯〜とぴあにはおいしい野菜がもりだくさん

協力隊のゆのまえ暮らし（隊員がゆる〜く近況報告）

最近のマイブーム

湯前に帰ってきて半年。食べるに食べました。ご飯が美味しい。そして太りました。目標はマイナス10㌔。旬の野菜ダイエットをしています。マイブームはズッキーニ。薄くスライスしてキャベツと塩昆布をごま油であえるとおいしいです。あと7㌔！ズッキーニとわらびを食べながら頑張ります。

今月の隊員
椎葉 賢也

6年生のお兄さんお姉さんに連れられて入場する新1年生

CLOSE UP
小・中学校入学式

湯前小学校入学式

「あ」「ひ」「る」で元気に登校

湯前小学校（菅原浩子校長）の平成30年度入学式が4月10日に同校体育館で開かれ、38人の新入生が小学校の門をくぐりました。

新入生は6年生につれられて入場。保護者らの温かな拍手を受け、席に着きました。担任の山田恭美教諭から名前を呼ばれ、少し緊張しながら「はい」とかわいらしい声で返事をして、立ち上がりました。

菅原校長は「みんなが入学してくるのを楽しみにしていた。『あ』いさつしよう大きな声で、『ひ』とりでしよう自分のことは、『ル』ールを守って楽しい毎日、の3つの約束を守って毎日元気に学校に通ってほしい」とあいさつ。

5、6年生は「勉強は楽しいし、給食はおいしい。困ったことがあれば何でも聞いて。湯前小では大きなあいさつと返事を頑張っているので、一緒に頑張ろう」と歌とメッセージを送り、新入生を歓迎しました。会場には一学年ごとのメッセージが飾られ、みんなで新しい仲間を祝福しました。

❶かわいらしい声で返事をして起立❷笑顔で我が子を見守る保護者たち❸「入学おめでとう」会場のうしろ側には全校児童一人一人からお祝いの言葉が飾られた

3年間の決意と抱負を語った岩野さん

湯前中学校入学式

湯中生の誇りを胸に

背筋を伸ばして立つ新入生

湯前中学校（古家慎也校長）の第72回入学式が4月10日に同校体育館で開かれ、24人の新入生が制服に身を包み、新たな学校生活をスタートさせませした。

新入生は担任の酒井淳子教諭から名前を呼ばれると一人一人元気な声で返事をして起立。古家校長は「夢の実現に向けて、失敗をおそれず、さまざまなことに挑戦し、自分の生き方に自信を持てるようになってほしい」とあいさつ。生徒会長の藤岡顕将さん（同校3年＝上里3）は「先輩たちが残してきた輝かしい歴史に負けず、一緒にすばらしい学校をつくりあげよう」と新入生を歓迎しました。

新入生を代表して、岩野寧々さん（同1年＝瀬戸口）が「くじけそうなことは、みんなで支え合って乗り越えていきたい。湯中生としての誇りを胸に3年間頑張りたい」とあいさつしました。会場には保護者だけでなく、一つ下の学年となる湯前小の6年生も来場し、先輩の入学を祝いました。

❶保護者からたくさんの拍手を受けて入場
❷一つ下の後輩たちも先輩の晴れ姿を見守った

前列（左から）　正明さん（24）、キリさん（95）、美花ちゃん（11カ月）、鮎美さん（25）
後列（左から）　明美さん（21）、直美さん（49）、勇さん（50）、リヱ子さん（75）、高續さん（74）

家族を照らす光、うれしい玄孫（やしゃご）の誕生——

工藤正明（まさあき）さん、鮎美（あゆみ）さん、美花（みはな）ちゃん家族　馬場

馬場区に住む工藤正明さんと妻の鮎美さん（旧姓＝恒松）。昨年６月に長女美花ちゃんが誕生。現在、３人は恒松家で暮らしている。同家は４世代９人が暮らす大家族。キリさんのひ孫である鮎美さんの子ども。美花ちゃんは本町でもめずらしい「玄孫」だ。

２８１４㌘でこの世に生を受けた美花ちゃん。正明さんはこの瞬間を心待ちにしていた。「よく頑張った—」。子どもが生まれる喜びと妻がつらさから解放される安心感が重なり、自然と涙がこぼれていた。

すくすくと育ち、11カ月。大好きなパンダのパペットを見せると大きく口を開けて笑う美花ちゃん。その笑顔が家族を明るく照らしている。祖母の直美さんは「離乳食を食べる仕草一つとってもかわいい。何度も同じ仕草をさせて、家族みんなで褒めちぎってしまう」と笑って話す。キリさんも美花ちゃんと遊ぶためによく部屋を出るようになった。

鮎美さんは「ごみが落ちていたら拾うなど、自然と気遣いができる子になってほしい。うちはみんな夫婦そろって仲良し。そんな家族のように、私たちもずっと仲良し夫婦で居続けて、美花もずっと父親と仲良しでいてくれたら」と二人で優しく我が子を見守る——。

1親子３人がずっと仲良くいられることを願う工藤さん夫婦2高續さんが手をたたいて美花ちゃんを呼ぶ姿にみんなも笑顔3みんなに温かく見守られてすくすく育つ美花ちゃん

Pubric Relations Magagine. まちの情報誌ゆのまえ
May_2018
Vol.443

発行／湯前町役場総務課 〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1
発行日／平成30年5月1日 印刷／(有)ソーゴーグラフィックス